○市民ワークショップ会議録

第1回・第2回のワークショップによる、施設利用者及び市民との施設コンセプトイメージの方向性についての対話の結果から、市民ニーズは次のように整理できる。

（ア）施設のイメージや方向性におけるニーズ

・生涯学習施設が単体で整備されるのではなく、西尾公園や歴史公園との接続や敷地周辺との関係性を意識する。
・町並みをいかし、三河西尾の伝統的な造りを取り入れた外観や内装などを検討する、現在のSLを建物の目印にするなど、現在すでにある西尾らしさをいかす。
・デザイン的にも思い切って斬新なものを取り入れる、また規制や固定概念をとり払う。
・吹き抜けやガラス張りなどの開放的な空間、環境にやさしい施設であること。
・利用者が主体的に誰かとつながるような施設、あるいは交流の場であること

●**施設の敷地周辺との関係性**を意識し、すでにある**西尾市の地域資源**をいかしつつ、施設そのものは**斬新で開放的な空間、環境への配慮**が求められているといえる。

（イ）アクセス、利便性、情報提供におけるニーズ

・すべて利用者が主人公となる、市民にわかりやすく使い勝手のよい施設。
（そのための具体的なニーズ）
・部屋名をわかりやすくシンプルにする、施設内の案内表示をピクトグラムや点字、やさしい日本語、多言語等で充実させる、ワンストップサービスの実施、休館日は年末年始だけにする、施設利用者への特典、一人でもふらっと足を運べる施設にする。
・駐車場、駐輪場の充実やクルリンバス停車にとどまらず、雨天時の駐車場から施設への移動まで配慮した、施設へのアクセスのしやすさ。
・館内のバリアフリー、移動のしやすさ（特に高齢者、障がい者に配慮）。
・授乳室、おむつ交換室、ベビーカー置き場（子供の遊び場前）、ロッカー、AED・担架をわかりやすい場所に整備すること。
・情報の見える化が必要で、SNSによる発信とそれ以外の発信の両方を行うこと。

●すべて利用者が主人公となり、**市民にわかりやすく使い勝手のよい施設**となるために、駐車場・バスのアクセスや館内のバリアフリーや案内表示等の**ハード整備**が求められている。
●ハード整備とともに、ワンストップサービスやSNSとそれ以外両方の発信による**情報提供といった、きめ細かなソフトの整備**が求められている。

（ウ）学びと遊びに関するニーズ

・情報収集の場であること（文献検索・取り寄せ機能ができる）
・フリーWi-Fiであること
・貸室はガラス張りのものと、そうでないものを整備する。また、共有スペースとし

てガラス張りの貸スペースを整備したり、貸室の中央に集いの場を整備する。
・展示スペース、音楽室（防音室）、工作室、実験室、スポーツ施設機能（屋内、屋外）や娯楽機能（ゲーム、映画）をもつ部屋の整備
・青少年向けの勉強空間があること（個室、Wi-Fi整備等）
・子供が安心安全に遊べる場所の整備（保育士がいるかで遊具の置き方が異なる）。遊び場が公園と一体化すること、また現在のSLの他、キッチンカーや野外シアターといったコンテンツを盛り込んでいくこと。
・（対象者ごとの仕組みづくり）託児をして親が講座を受ける、母親同士の悩み共有・相談の仕組み。高校生や大学生の学びがスキルアップにつながるような自分たちのための場所と分かる仕組み。勤労者が人生の問題解決のヒントを得るような場所、また高齢者がサークル活動や若者を指導して活躍する場所、障がい者が情報共有し、作品展示等で活躍する場所、外国人が日本語と母語を学習する場所等。

●展示や音楽、スポーツ等の生涯学習の活動内容に応じた貸室のニーズ及び、情報収集やフリーWi-Fiといった、**学びの入口としての一般的な機能が求められている一方**で、ガラス張りの貸室といった、**利用者同士の交流が自然に生み出されるような新しい貸スペースの整備**も期待されている。
●**すべての利用者を意識し、対象者ごとに居場所を提供**できるような講座等、ソフトにおける仕組みづくりが求められている。
●**青少年向け**の勉強スペースや**子供**の遊び場は、その設えに細かなニーズがある。

（エ）憩いに関するニーズ
・どの階にも休憩できるベンチや椅子を設置し、集いの場にはテーブル、イス、ソファーを整備。（屋外）カーポートの大きなものを設置し、休憩やマルシェができるようにする。
・カフェや食堂、キッチンカー、自動販売機など飲食との接点が必要である。

●**カフェをはじめとして飲食の機能**が求められている。また、施設の屋内外に**気軽に休憩ができる**ようなテーブル、イスを整備する必要がある。

＜参考資料＞

（1）　施設利用者及び市民とのワークショップ

＜生涯学習センターに期待すること＞をテーマに、施設利用者及び市民によるワークショップを２回（８月５日、８月 26 日）開催し、施設コンセプトイメージの方向性についての対話を行った。

開催の概要とワークにより出された意見は以下の通りである。

ア　第１回ワークショップの結果

（ア）開催概要

・日時：2022年8月5日（金）13:30～16:00
・場所：中央ふれあいセンター 視聴覚室
・参加者：18名（西尾市により選定）
・方法：参加者がA、B、Cの3つのグループに6名ずつ分かれ、テーマ①と②についてワークを行った後、発表、全体討論を行った。

テーマ①「生涯学習センターにはどんな役割があるか？誰のため？何のため？～幼児（親子）、青少年、勤労者、高齢者、障がい者、外国人など多様な立場の方にとって、どのような施設があったらよいか～」

テーマ②「どんな施設にしたらよいか話し合おう！～重要な意見とタイトルを考える～」

（イ）発表、共有された意見

各グループにより発表された意見は、以下の通りである。

ａ　Aグループ

・グループ全体のタイトルは＜年齢・男女・外国人・障がい者などすべて利用者が主人公!! 誰でも参加できる施設、静かなスペース＋ワイワイガヤガヤスペース＞。
・一番大きなこととして、年齢、男女、外国人、障がい者すべて、利用者が主人公だということを全面において、これができることが一番と考えた。そのなかにワンストップサービス、体育会系、文化系のものなどのいろいろなアイディアが出てきた。
・（公民館は老齢化傾向があるので）子供と母親を集めればたくさん人が集まる、青少年を集めた方が人がたくさん集まるのではないか？？ もっともっと若い人たちに集まって欲しいということが全面に出た。
・200 人ほどのスペースを100人、50 人、10 人と、小スペースにも分散化できるような会場だとよい。当面は、青少年を焦点にして道具を整備して徐々に更新していってはどうか。
・今使える施設がどこにあるのか、どこで何ができるかが分からないことが問題点である。また（遠方からの来訪者に対し）西尾駅から散策してきたときに、飲食スペースを用意しておけばほっとできる。

・特に重要とした意見は「◎ワンストップサービスの導入」「◎青少年が中心」である。また「使える施設がどこにあるのか分からない伝えたいことがある人、知りたい人が広告などを置ける、見ることができるスペース」「学生が学習できるシンプルなスペース」「（障がい者）バリアフリー エレベーター・トイレ・アプローチ」「人の流れを確保できる店・施設配置」「遊び場で遊んだ親子が気軽に飲食できる部屋がほしい」も重要とした。

b　Bグループ

・グループ全体のタイトルは＜市民にわかりやすい使い勝手の良いセンター＞。
・（利用者の）カテゴリー6 つに対しいろいろ意見が出たが、「その他」というところにどちらかというと着目した。クルリンバスがとまるような施設にしたい、駐車場にアーケードがあるとよいとか、物の動線、人の動線を分けるとか。すべての人が横断的な交流の場となるスペースがほしい（等々）。
・ユニバーサル的デザインのハードではなく、ソフト面でいろいろな人たちが交流すること。それによって、そこから高齢者の人でも、外国籍の人も施設の人も出てくるだろう。
・市民にわかりやすい使い勝手の良いセンターにしなければいけないが、生涯学習について分からない人が大半なので、いろんなスキルアップの場所として情報発信していなければならない。情報発信しなければ、そもそもここへ来る意味が分からないだろう。
・若い学生が来るために一番良いのは、wi-fi やeスポーツができるスペースの整備ではなく、高校生大学生が、自分たちが学んでいるものを、現場の生のところで自分のスキルアップにつなげていくこと、来て意味のある場所なのだ、自分たちにためになる場所なのだと分かることが必要。
・特に重要とした意見は「◎情報発信をする施設」。また「クルリンバスを止める」「駐車場にアーケード ぬれずに施設に入る」「物の動線、人の動線を分ける」「全ての人の横断的交流の場」も重要とした。

c　Cグループ

・グループ全体のタイトルは＜お腹も満たしてずーっと居たくなる憩いと学びのスペース＞とした。
・青少年コーナーは、勉強スペースとして超集中型とカフェのようにざわざわとしたところと2つに分け、選べるとなおよいという意見もでてきたが、重要なのは飲食スペース。
・子育て世代が肝で、資料のような子育てスペースにおいしい食べ物があればみんな絶対行くだろう。いろいろな種類のキッチンカーが来てくれたらワクワクしないかと。子どもが安心安全に楽しんでいるのを見ながら、お腹も満たせる、とても居心地の良いスペースになるという話になった。子育て世代が一番利用したいのは週末

だと思う。

- 高齢者の方たちは、子育てされている方たちのところで活躍してもらうのがよいのでは。子供が安全に遊べるという施設の一角を利用して、子どもに触れ合う機会の要望をもった方に活躍してもらうような、託児スペースがあってもよいのではないか。
- 障がい者の方にとって利用しやすい施設は、全ての人にとって利用しやすい施設ということで、やはりバリアフリーにしていただけたらとても嬉しい。
- 特に重要とした意見は、「◎飲食スペース」「◎遊び場 土日も利用可」「◎キッチンカー3 台くらい駐車可能」である。また「（青少年）学習室（自習） 宿題、勉強ができるスペース」「（勤労者）気分転換できるレクリエーションの場」「（外国人）誕生日パーティーや集会で利用」「バリアフリー」も重要とした。

d　全体討論

グループ共通のキーワードである飲食、情報発信等について、以下の意見交換がなされた。

- **（飲食）**西尾市民も楽しめつつ、かつ市外の人たちがSNS 映えを狙ってくるような流れを確保して、隠れスポットとして映えるような喫茶店があると、若い世代、市外からも来ると思う。（Aグループ）
- **（飲食）**カフェか何かがあるとよいというのは、どこのグループも共通するところだと思う。飲食というのは、何らかの形で接点はあると思う。（Bグループ）
- **（情報発信）**その施設が何をやれる場所かということを、SNS を駆使して発信し、若い世代を引っ張ってくる。障がいを持っておられる方や高齢者の方々には、SNS というより、ビジュアル的に絵だとかピクトグラムみたいなもので、視的な部分でわかるように工夫をするとよい。（Bグループ）
- **（情報発信）**議論したワンストップサービスは、基本的に断らない、利用者から何か相談があったときに断らない。それを基本にして生涯学習についてどんな相談にものりますという心構えの組織でありたい。もうひとつは、いろんなことをやっていくが、ここへ来れば答えがでるようなシステムにしていきたい。（Aグループ）
- **（その他）**事務室・市民活動サポート機能が市民交流スペースにあるのが一番良い。いろいろな人たちを結びつける、ハンドリング、コーディネートの機能が市民交流スペースにあるのが一番合理的と考える。（Bグループ）
- **（その他）**新しくできるセンターに市民が何を期待するのかを、より多くの市民に聞いていくということをやるべき。もっと情報提供して市民からの声を集めてほしい。（Bグループ）

（ウ）付箋紙に書かれた意見

各グループで付箋に書かれた意見は、以下の通りである。

Ａグループ　「生涯学習センターにはどんな役割があるか？誰のため？何のため？」
幼児（親子） ・入り口はベビーカーでも入れる大きさ　　・子供用（幼児用）ジャングジム ・トイレにはベビーチェアがほしい ・あそびばであそんだ親子が気軽に飲食できる部屋がほしい ・子どもルームにあずけて活動ができる
青少年 ・友達との交流ができる場 ・簡単に使える快適な広い学習スペースが欲しい ・学生が学習できるシンプルなスペース ・体育館のような広いホール、多人数で体を動かせる室内
勤労者 ・ぷらっと寄って息抜きができる場
高齢者 ・それぞれの部屋がわかりやすい！場所であったりサインで…
障がい者 ・障がい者に対し優しい（手話、点字 etc）の導入 ・健常者も障がい者も気軽に利用できる ・介護支援ができる道具、車 ・バリアフリー（エレベーター、トイレ、アプローチ）
外国人 ・外国語話者 どの言語話者もわかるような標示や案内標示があるといい！ ・日本語だけでなく他国の言語の表識 ・「やさしい日本語」で書かれたフロアマップや部屋の名前にしてほしい！ ・サインは日本語と母国語を併記 ・西尾の文化に触れつつ学べる日本語教室が欲しい
その他（全対象） ・ボランティア用飲食支援の道具を揃えてほしい ・文化系、体育会系ともに利用できる　　・バドミントン場 ・文献検索、取り寄せが簡単にできるといい！！ ・工作、実験室 ・会場の分割化 ・道具の確保 ・個人でも気軽に利用できる ・WEB 会議のできる場所と PC など ・土足エリア、土足禁止エリア 部屋によって ２つともほしい ・伝えたいことがある人、知りたい人が広告などを置ける、見ることができる スペース ・幡豆からのバスを出して欲しい ・卓球場 ・床にもわかりやすい案内標示があるといい！※高い位置だと見にくい人もいる ・緑化、動物や虫などと触れ合える場がほしい！（見るだけでも！！） ・音楽室と楽器を揃えて欲しい ・相談室 ・人の流れを確保できる店、施設配置
【現状の問題点】 ・使える施設がどこにあるのかわからない ・集まる場所が遠い ・喫茶（スペース）会場がない
【その他提案】 ・地域、地球と環境にやさしい施設（自然エネルギー、省エネ） ・ワンストップサービスの導入 ・西尾公園、二の沢川 地球環境の活用 ・周辺施設 学校、文化会館、グラウンドなど公園との連携を！

Ｂグループ　「生涯学習センターにはどんな役割があるか？誰のため？何のため？」
幼児（親子） ・授乳室（おむつかえ室）　・授乳室を設置する ・子どもが安心して過ごせる　・子どもと過ごしやすい（乳児から） ・小さい子どもを連れてこれるスペース、場所が欲しい ・エレベーターをつける（ベビーカーも楽に入れる広さ）　・託児 ・母親が講座を受けている時子どもが遊べる部屋
青少年 ・Wi-Fi　・Wi-Fi 環境　・Wi-Fi が使用できるように ・Wi-Fi、ネット環境を良くする　・ゲームができる ・写真映えするようなカワイイデザインの部屋　・若者をとり込める施設内容 ・勉強用の教材をたくさん用意したスペース ・夜遅くまで使用できる学習室の設置（10 時）　・鏡ばりの部屋を
勤労者 ・展望レストラン　・食事ができる ・荷物用エレベーターを別に ・誰とでも自由に話せるカフェがほしい　・カフェの設置 ・人目が気にならない=リラックスできる　・カフェのような空間
高齢者 ・車で行きやすい、駐車場がとめやすい　・車がなくても行きやすい ・車がない 来る手段がない方が来やすくなると良い ・アクセスしやすい環境の整備　・交通の便が良い ・低層できれば平家　・高齢者がつどえる場所 ・エレベーター　・エレベーターは複数設置　・身体にやさしいゆか
障がい者 ・障がい者用の駐車場　・部屋はすべて引き戸（ドア） ・多目的トイレ　・障がい者の方への配慮（ex）トイレまで点字で案内 ・通路は広く　・バリアフリー
外国人 ・つうやく　・通訳さんがいる ・言語交流の場がほしい ・多言語、多文化にやさしい標示やピクトグラム？(アイコン)
その他（全対象） ・施設と駐車場までのアクセス　・駐車場の台数を増→立体 ・駐車、駐輪場から濡れずに施設へ出入り ・駐車場にアーケード、濡れずに施設に入る・駐車場舗装は浸水性の高いものに ・本日の部屋使用が一目でわかる案内板 ・情報を知ることができる場所　・情報発信をする施設 ・防音室でも窓があると良い ・各室（貸室）は防音　・防音部屋 ・（武蔵野市で行われていたような）環境への取り組みを入れた施設 ・施設利用者への特典を用意 ・西尾の特色が生かされているちょっとした場所、ポイント ・植栽はなし　・クルリンバスを止める ・物の動線、人の動線を分ける　・裏口が必要 ・誰のためではなく たて割ではなく　・全ての人の横断的交流の場 ・グループや団体ではなく個人で利用できるスペース ・１人でも足を運べる　・ほっとできるスペースがほしい ・ふらっと立ちよれる　・仕事帰りに行ける ・ユニバーサルデザイン ・少人数（10 名以下）の小さい部屋　・大、小使い勝手の良い部屋 ・体育館のようなゆか　・休館日は年末年始だけ

Ｃグループ　「生涯学習センターにはどんな役割があるか？誰のため？何のため？」	
幼児（親子）	
・遊べる場所（走り回ってもよいところ）	・遊べるスペース
・安心安全でゆったり遊べる	・遊び場（土日も利用可）
・託児	
・案内場所が一か所に集まっている（あちこち行かなくてよいように）	
・同じ悩みを持つお母さんたちと相談できる場	
・段差が少ないフロアー	
青少年	
・飲食スペース	・友と語り合える場（くつろげる）
・学習室（自習）	・学習スペース（個室）
・自習スペース（Café 風で集中できる）	・宿題、勉強ができるスペース
・学習室に充電できるところを作る	・バンド（楽器）の練習スペース
・映画館	
【現状問題点】	
・映画館がない	・スポーツができる体育館が欲しい
勤労者	
・気分転換できるレクリエーションの場	・休憩スペース
・資格等の勉強する場	
・人生の問題解決のヒントを得る学びの場	
・仕事帰りに立ち寄って情報を得られる	・会議室
高齢者	
・サークル活動の場	・囲碁、将棋
・自分の「好き！」 趣味を仲間と極める場	・いこいのスペース
・いろいろな人、社会とつながる場	・若者を指導し活躍する場
・高齢者が移動しやすい 室内も室外も	
・飲食スペース	
【現状問題点】	
・エレベーターがない	・駐車場の問題
障がい者	
・ピクトグラム	・点字
・同じ障がいを持つ方の情報共有の場	
・作品を展示、販売するなど活躍の場	
・バリアフリー	・エレベーター広く、動線シンプル
外国人	
・案内板などがシンプル　漢字のみは NG	
・言語（日本語）のレクチャー	・日本語（母語）学習
・誕生日会パーティや集会で使用	
【現状問題点】	
・予約を取りにくい（ルールが細かく厳しい）	
全員	
・地域にもたくさんある施設との関連性	
・どういう性格にしていくか ①学び　②つどい　③いこい	
・清潔、明るい、おしゃれ	
・閑散期と繁忙期あり。その時期によって必要な使い方ができる	
・立体駐車場 文化会館、グランドで催し、大会があると不足する	
・立体駐車場で催しができるつくりにする	
・食堂の充実	・フリーWi-Fi
・キッチンカー ３台くらい駐車可能	
【現状問題点】	
・現在、利用者数が少ない理由は何か	

（エ）アンケートに書かれた意見・感想

ワークショップ終了後に実施したアンケートでは、以下のコメントが寄せられた。

- 若い人（学生、女性）の意見が多く聞かれた。
- 市の意向はどう考えているか？市民に期待する声は。
  （メンバー）男子高生・男子大学生の声もあれば良かった。
- 世代が違う方々（特にいつもは話が聞けない若い子たち）の話が聞けて、とても参考になりました。推進委員会の会議でもしっかり活用していきたいです。
- 日本語教育を必要としている子どもが愛知県はダントツで多いです。将来、クラスに数人外国籍の児童生徒がいてあたり前になると聞いています。言語は様々ですので、ピクトグラムやイラストなど「やさしい標示」がもっと増えるといいかなと思います。”漢字をつかわない”というのもひとつの施設の利用のしやすさであると思っているので、センターや部屋名などはあまり複雑だとよくないのでは…？と思っています。
- 中央ふれあいセンターの周りの道路は、一方通行が多く、信号機がなくて人通りが多くなると、事故の発生が多くなってしまうと色んな方がきにくくなってしまうかなと思いました。沢山の方々と話す事ができてとても良い経験になりました。ありがとうございました。
- 小グループだったので、意見が出やすかった。もう少し多くの市民がワークショップに参加してもいいのではないか
- 子育て世代・障がい者などの方も参加していると良いなと思った
- グループごとに同じ意見もあれば違う意見もあり、とても有意義なワークショップでした。
- 様々な世代からの意見が聞けて面白かったです。安価or 無料で利用できるジムもほしいです。
- 全てのグループが飲食スペースを希望しています。建築基準法の規制はあるが、建築できる方針で考え直してもらい（再検討を）
- 駐車場から雨にぬれず施設に入れることは絶対に必要だと思います
- 高校生がメンバーにはいってくれたのはよかったと思います。これまでもできていたかもしれませんが、センターの役割りは①学び ②つどい ③いこいの場の提供だと思います。せっかくの施設ですからプラス いろいろな世代のふれあいの場にもなっていってほしいですね。
- いろいろな人のとても良い意見が聞けて新鮮、楽しかったです。不登校や引きこもり、問題がこじれる前に市民に心理学講座、やると良いと思います。
- 生涯学習というテーマで、人を集めよう、とか講座をしようという発想ではなくて、「市民が集まる」→「話しがはずむ」→「集まった人たち対象にこんなことしたら楽しいね！」というサイクルができる施設だといいなと感じました。
- SNS 等による情報発信は非常に重要だと思います。大枠が決まった時点で準備の段階から経過等を発信して行くのも良いと思います。
- 青少年からすると学習スペースが必要だなと思いました。どの世代も使うことのできる飲食スペースもとても良い考えだと思いました。

イ　第２回ワークショップの結果

（ア）開催概要

- 日時：2022年8月26日（金）13:00～15:00
- 場所：きら市民交流センター　多目的ホール
- 参加者：18名（西尾市により選定）*うち1名は代理出席
- 方法：第1回目と同じグループ分けにより、参加者がA、B、Cの3つのグループに分かれ、テーマ①と②についてワークを行った後、発表、全体討論を行った。

　テーマ①「どんな施設にしたらよいか話し合おう！パート2」第1回目の追加意見

　テーマ②「施設を利用する市民の様子を具体的にイメージしてみよう！」多様な立場の方が気軽に来訪できる施設となるためにどうしたらよいかを考え、ロビー、敷地周辺との関係、ゾーニング、外観などのイメージを具体的に絵や文字で描く。

（イ）発表、共有された意見

各グループにより発表された意見は、以下の通りである。

a　Aグループ

- 前回の追加意見も出たが、色々な立場の方がいていい意味でまとまらなかった。
- グループ全体のタイトルは＜レトロモダン　大人から子供まで＞。レトロでありかつモダンである、歴史的でありながら現代的で使いやすい施設でないと、高齢の方から小さい方まで楽しめないのではないかと、このタイトルを考えた。
- レトロモダンというタイトルをつけた一例を挙げると、歴史公園という歴史を残しつつも新しく出来るモダン的な建物を作るにあたって、この歴史的、木の配置、檜の配置も踏まえて、どこをガラス張りにするのか、どこを開ける施設にするのか…　温故知新というイメージがすると思う。
- 歴史公園と一体とさせつつも、今の現代の若者や小さい子が来たいというような、近未来とまではいかないにしても、現代的で使いやすい施設が一番いいと思う。変わらない西尾と変っていく西尾が混合していくようなそんな施設になるとよいなと思う。西尾の大きな看板を背負っていくのは市役所ではなく、生涯学習センターでもよい。歴史を感じつつも、若者なら映えを狙っていくようなそんな施設であってもよいと思う。

b　Bグループ

- グループ全体のタイトルは＜どうせならやっちゃえ！一体利用＞。
- 前回の追加意見はひとつ、貸室の邪魔にならないように、（館内）音楽が聴けるような空間・施設になるとよいとした。あとは、前回のものを具体化し平面に収めた。
- 【外観】（現中央ふれあいセンターとテニスコートのエリア）建物は現テニスコートのところで 3 階建てで設定した。屋上にフットサル場やテニスが出来るように人工芝をはり、普段は憩いの場としてベンチ等を置いておいて、利用があったときのみフッ

トサル等に利用してもらうとした。（現中央ふれあいセンターのエリアは）２ 階建ての立体駐車場とし、１ 階・２ 階は駐車場とし屋上に屋上庭園をつくり、憩いの場とする。なお建物と屋上庭園（図の点線部分）は、できれば通路を設けて通っていきたい。

- 【外観】SL が置いてあるところは普段は子供が遊べるスペースとし、扉を開けると一体型で芝生広場になっているような、一体利用できるようにしたい。SL はできればこのグループのタイトル通り、走らせてしまおうという話になった。
- 【外観】（文化会館の駐車場エリアは）橋を架けて、カフェを誘致してカフェエリアとする。ドライブスルーで寄れるようにもする。（北側）新しいフィールの前には道はないが、そこも道を通し、桜を植えて歩くことも出来るし車も通れるようにする。橋から写真を撮れば４月は桜の木で映えるだろう。写真スポットもつくる。
- 【内装】（前回の意見を受けて）まずはアーケードを設置することで、駐車場から濡れずに入れ、バス停もアーケードのすぐそばに設置し、そのまま施設に入れ、身体の不自由な方、車椅子の方も、より施設に近く駐車場を設置することで利用しやすくすることを考えた。
- 【内装】入ってすぐの左手には、テーブルなど設置し、カフェなり飲食スペースでもよいし、休憩する場所でもよいし、右手には本棚を設置した。用途としてはあまりかわらないが、前回の武蔵野プレイスの動画を参考にした。（左手側とは）ちょっと変わった雰囲気のくつろげるスペースで、（右手は）本棚を設置し、友達と本を読んでも勉強をしてもよいし、くつろげるスペースをまず作る。
- 【内装】入って奥側には親子で遊べるスペース、子供スペース等の設置。家でも窓を開けると庭が広がっているように外と中が簡単に行き来できるように、飲食ひとつでもすぐ芝生が広がっていて外のスペースを利用できるイメージとした。また、入ってすぐのところにエレベーター、エスカレーターを設置し、足の不自由な方が行き来しやすいようにする（点字ブロックも設置）。

c　Cグループ

- グループ全体のタイトルは＜KAIHOU 未来を切り拓く～人と場所がつながる～＞。
- 追加意見には、子供が学校では学べないような人生において大切なことを学べるプログラムがあるとよいこと、地産地消として地元の生産物を地元で消費できるとよいこと、SNS の発信の仕方等も考えるといいといったことが挙げられた。また、今回高校生の代理で高校教諭の方が出席してくれて、高校生が積極的に学びとして関わることを提案してくれた。
- （模造紙）下の方は、外観について、建物、駐車場、立地のこと。建物の中身については、学習スペースや交流スペースの配置などのアイディアで（模造紙）上の方である。「KAIHOU」というタイトルの通り、駐車場や芝生の広場に接しているところをガラス張りにし、それが折りたためて、天気のよい日はひと続きになるというアイディアが出た。透明の発電ガラスが開発されたという報道があったが、ガラス面にはそういった発電もしながら日の光も取り込めるというものはどうだろうかとか…。また、ガ

ラス張りになっていて、小さい貸室にひとつひとつのグループが貸室のなかで話すのにとどまるのではなく、広いスペースに複数のテーブルがあるような、フリーアドレスのオフィスをイメージし、隣同士のグループが広いスペースのなかでお互いに刺激を与えられるような、そうしたスペースがあるとよいのではないか、という意見が出た。

・外観については、前回に引き続き大事なこととしてキッチンカーをどこに配置するかを話した。また、SL はとてもよいので素敵な位置に移動してもらい、子供たちなどを SL がお迎えしてくれるような施設になると目立つし、写真も撮りたくなる。親御さんたちも「あの SL のある建物に遊びに行こう」という目印になり、行きたい場所になる。

d　全体討論

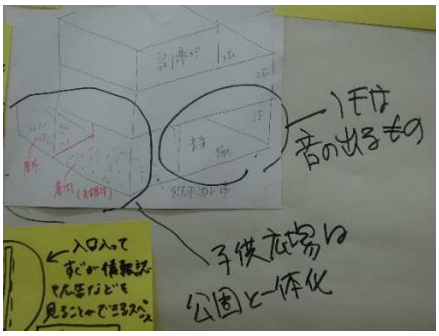
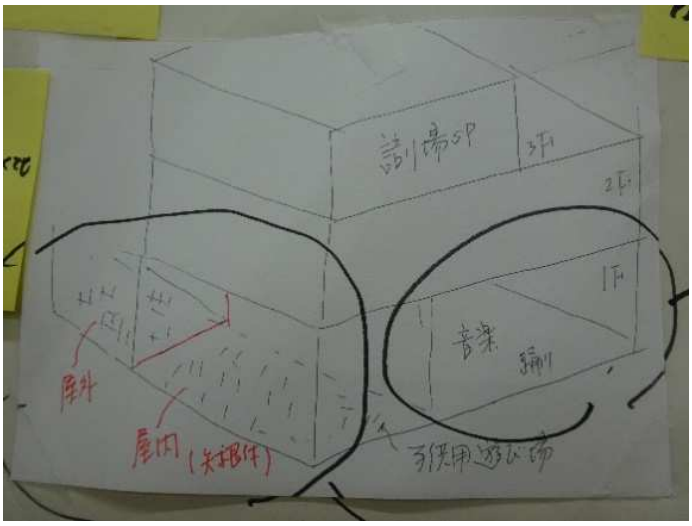
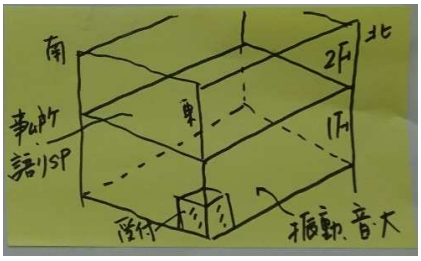
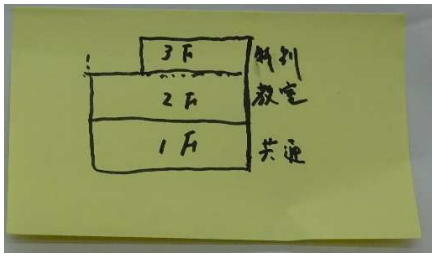
敷地周辺、特に西尾公園との接続を意識して施設の計画があるべきだという考えが３つのグループに共通した意見であることを確認し、そのなかで以下の意見があった。

・**（歴史公園との意識）**総合グラウンド、西尾幼稚園、歴史公園も全てひっくるめて、公園のなかの施設と位置づけて、生涯学習及び市民活動というところを意識するのであれば、観光ガイドボランティアの人達も生涯学習センターでスキルアップの研修や講座も引き受け、その人がデビューする場所が歴史公園。施設と周辺エリアとが上手く紐付いていると、センターのなかの生涯学習の部分と社会教育と市民活動が一体化していくのではないか。スポーツの整備もしたが、スポーツについてもしっかり入れていけるとよい。（B グループ）

また、利便性についても３つのグループが共通して気にかけていることを確認した。

（ウ）付箋紙に書かれた意見

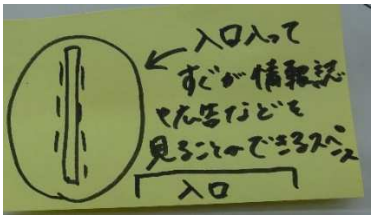
各グループで付箋に書かれた意見やイメージの絵は、以下の通りである。

Ａグループ　「施設を利用する市民の様子を具体的にイメージしてみよう！」1／3
第１回の追加意見（「どんな施設にしたよいか話し合おう！パート２」） ・案内パネルの導入（受付も設けておく） ・パソコンが使える回線がある ・コンセントがある。使える。 ・展示スペース（1F）がほしい ・お高すぎないカフェ ・複合施設の・メリット・デメリットを聞きたいです ・地域交流センター機能・総合教育センター機能　『複合施設』としての良さを生かす！！ ・幅のひろい（奥行き）且つ段差のひくい階段がいいのでは？（場所をとってしまうのが難点） ・青少年を優先ですが→使用率は高令者が多用出来る場 ・老人、子供は１階で、若人は 2F 以上
今回の意見 **【建物】**・1F は音の出るもの、子供広場は公園と一体化（絵↓）       ・各階のイメージの絵２点↓    

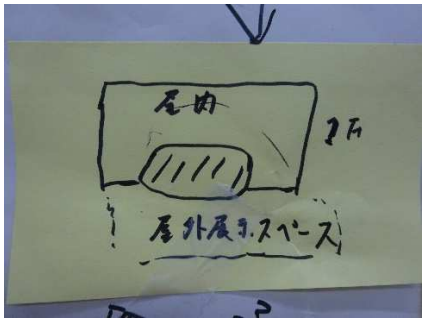
Ａグループ　「施設を利用する市民の様子を具体的にイメージしてみよう！」２／３

【建物】

・入り口入ってすぐが情報誌や広告などを見ることができるスペース



・（センター入口付近の絵↓）

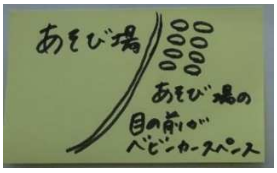


（その他）

・青少年の学習スペースは貸部屋とは別の階の方がよい。
・3F に学習スペース、外から中が見えるようにして、勉強の休憩に自席から外の景色が見れる。
・どの階でもいろんな人がぶらっと休憩できるベンチやイス
・水飲み場、手洗い場設置
・バリアフリー　駐車場～入口まで建物入口までの雨除けテラス

【子供広場】

・あそび場の目の前がベビーカースペース（絵↓）



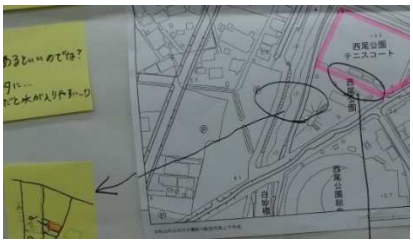
（その他）

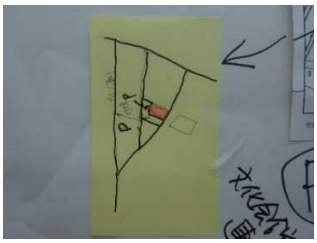
・子供の遊び場　西尾公園との一体化
・屋内にベビーカー置き場
・こども広場には保育士さんのような管理をしてくれるような人は入るのか？
・↑それによって、おもちゃや遊具の置き方が変ってくると思います。

Ａグループ　「施設を利用する市民の様子を具体的にイメージしてみよう！」３／３

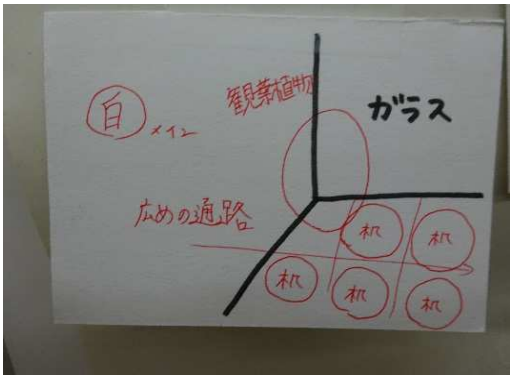
【全体の要望】

・🅿：文化会館の🅿と連絡させる。（絵↓）





・物の出し入れ、ペンを置くとき、座るときに音が出ないような素材の「勉強空間」をつくってほしい。また、机やイスは個々であってほしい。（絵２点↓）



（その他）
・ロッカールームを　子供広場や貸部屋に必要？
・入り口、エレベーターはベビーカーや荷物の搬入を考えて大きめがよい。
・勉強スペースの床は、ものが落ちても、足音を気にしなくてもいいような音吸収の素材だと助かる！！
・自転車置き場は入り口近く且つ多くあるといい！！（他の施設でテスト週間などで自転車があふれかえっている）
・太陽の動き的に日影ができるよう左手前にくる方がいいのでは？　→自然光も入って節電にもなる…？
・色彩に関する障がい者（白黒でも分かる）、日本語が読めない外国人が一目で分かるような色の濃淡や暖色、寒色など使い分けられた道などを設ける
・点字や点字ブロックは設けておく（駐車場や階段付近）
・入り口は東側にあるといいのでは？（雲のうごき的に…雨とかだと水が入りやすい…？
・AED や担架など、分かりやすい場所かつどこにあるかすぐ分かるよう所々に指示があるとよい
・文化会館にキレイな庭園があるのに、あまり知られてないのもったいない！！学習センターから春（さくら）秋（紅葉）冬（イルミ）などのつづく道があるといい！！
・外観は街なみに合うようにする！
・歴史公園と一体化する
・WIFI（全館）
・コンセントがある
・自動はん売機

Ｂグループ　「施設を利用する市民の様子を具体的にイメージしてみよう！」1／3

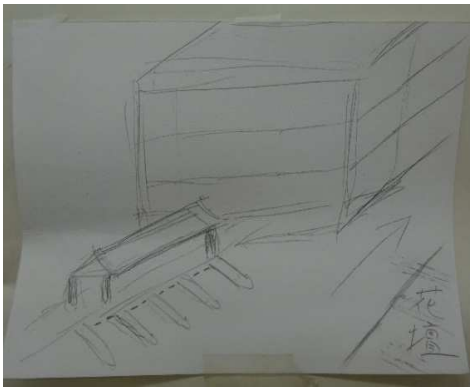
第１回の追加意見（「どんな施設にしたよいか話し合おう！パート２」）

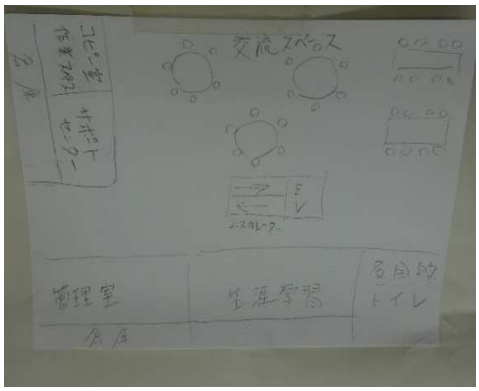
・館内音楽をかけてほしい（ロビー、集いの場などに）

【外観】・（周辺との関係、配置）

・何でも出来る芝生の屋外スペース（スポーツ、イベント、花見等）

・（外観、施設イメージの絵２点↓）

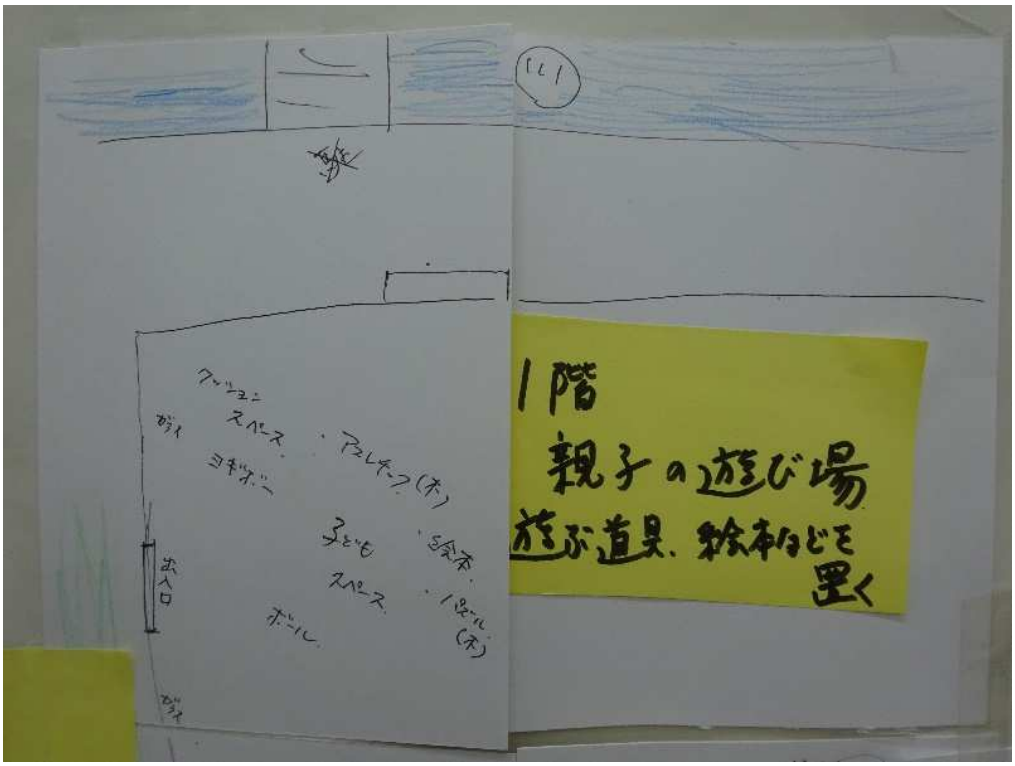




Ｂグループ　「施設を利用する市民の様子を具体的にイメージしてみよう！」２／３

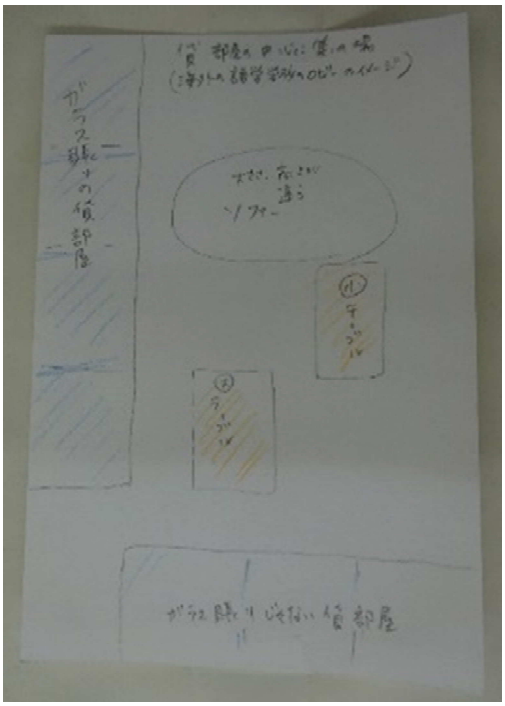
【内装】

・（建物の奥　親子の遊び場　絵↓）



・１階　親子の遊び場　遊ぶ道具、絵本などを置く

・（憩いの場　絵↓）



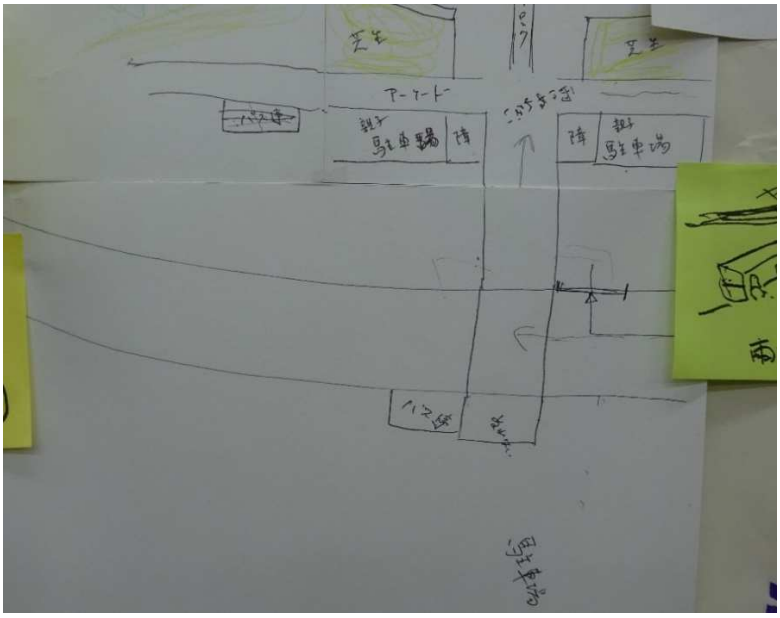
（入って右手　本棚等　絵↑）

Ｂグループ　「施設を利用する市民の様子を具体的にイメージしてみよう！」３／３

【内装】

・（建物入って左手　絵↓）

・（入口付近　絵２点）



（その他）

・壁が少ない広い空間

・見張しのよい窓際に学習スペース及びくつろげるスペース

・外観の一部　ガラス張り（1F～2F　建物の上まで）

Ｃグループ　「施設を利用する市民の様子を具体的にイメージしてみよう！」1／3

第１回の追加意見（「どんな施設にしたよいか話し合おう！パート２」）

青少年・子供

・子供が学校で学べないことを体験　ドローン体験 etc
・20 代　周辺企業とのコラボ
・20 代　目標を見出せる、生きがい、ヒント見つけられるのが生涯学習施設

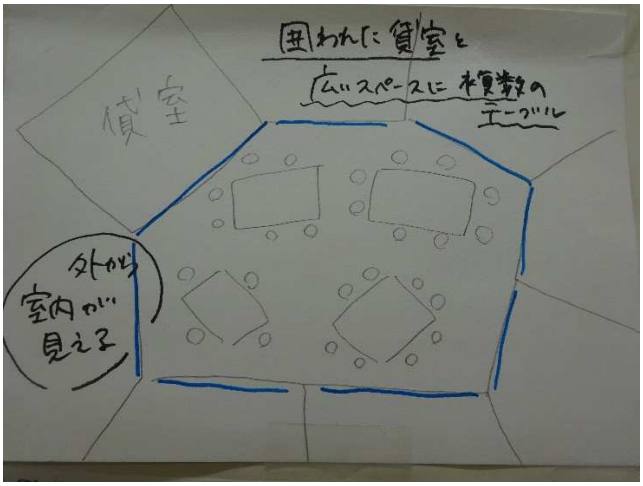
全体の要望

・学習者　自由に使えるスペース、情報提出のスペース　自由に交流
・地産地消
・高校提供　花壇・花、鶏卵
・マルシェ　地元農家、野菜
・市の発信のしかた？学校の校内掲示板などで知ることも…　発信をどう広げるか（受け手に届ける為）
・SNS　ツイッター、フェイスブック、ティックトック、インスタ　年代によって使う SNS が違う
・情報発信したくなるような内容を！・健康志向・西尾の地産地消
・施設名
・広いスペースを何団体かでかりる、オープンにする、刺激をしあう、こぢんまりとした閉ざされた貸室でなく（※貸室のイメージ絵参照）

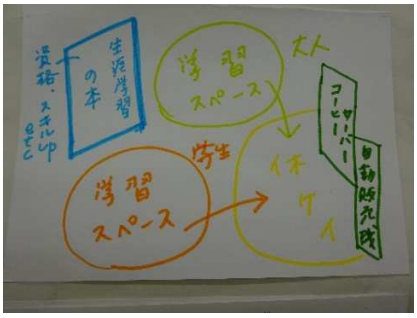
今回の意見

【建物の中身】

・（※貸室のイメージ絵↓）



・（休憩スペースイメージ　絵↓）

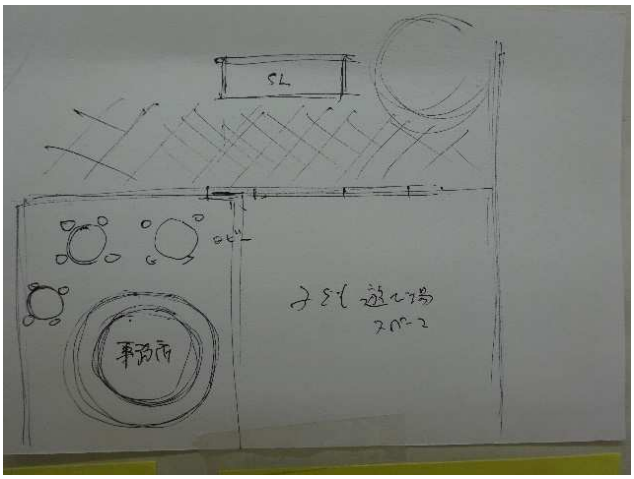


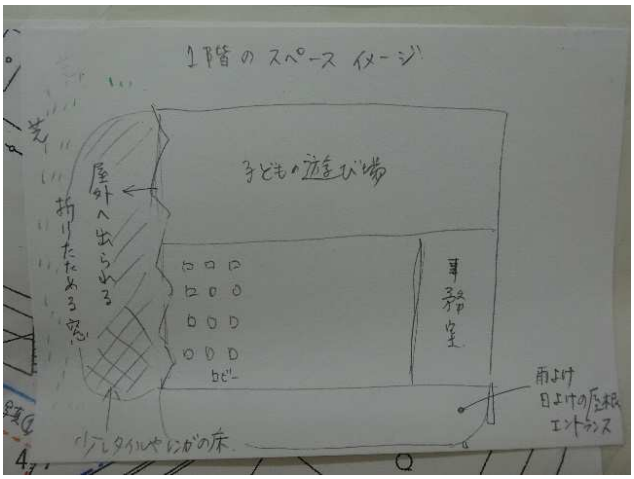
・（ロビー　絵↓）

Ｃグループ　「施設を利用する市民の様子を具体的にイメージしてみよう！」２／３

【建物の中身】

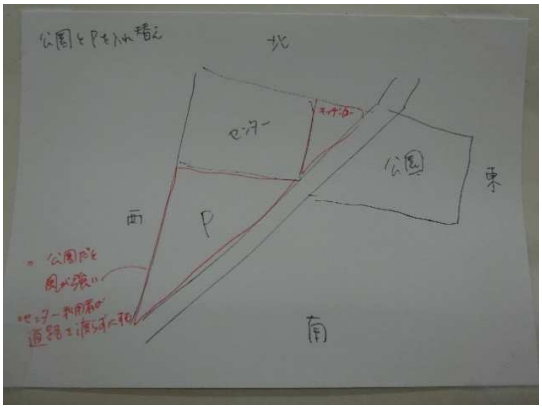
・（ロビー、子供の遊び場、事務所イメージ　絵２点↓）





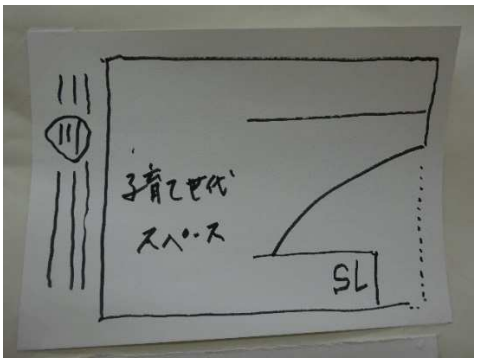
【外観、周辺との関係】

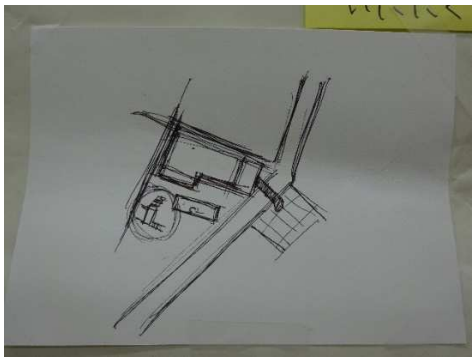
（配置イメージ等　絵２点↓）

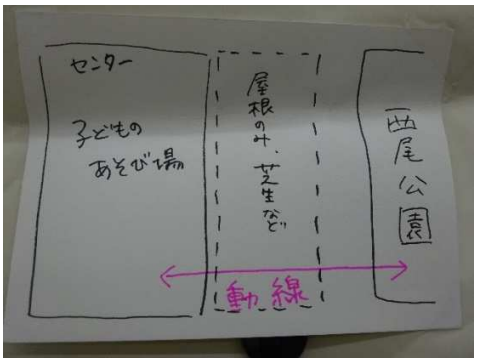


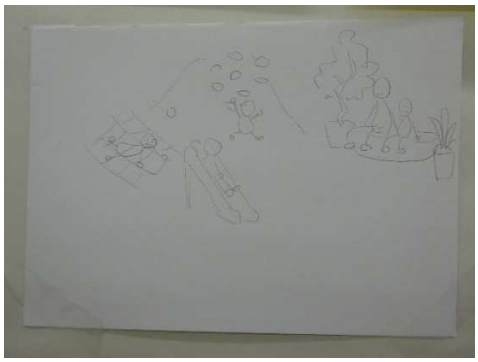
Ｃグループ　「施設を利用する市民の様子を具体的にイメージしてみよう！」3／3

・（SL、公園を意識した配置やイメージ　絵４点）

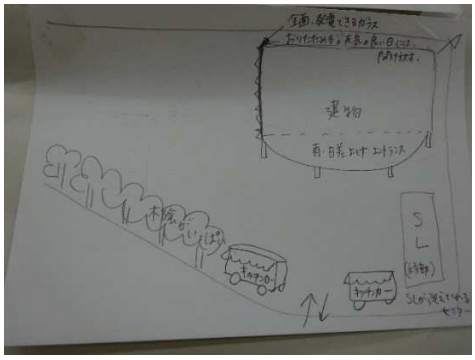




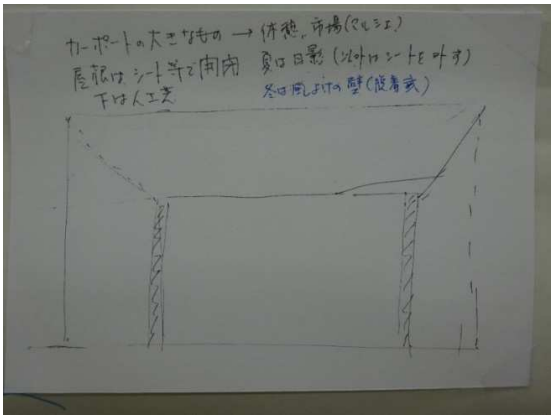




・（キッチンカー等を意識した入口付近　絵２点↓）



・（カーボートイメージ　絵↓）



（その他）
- 道路から入口が分かり易い表示
- 三河西尾の伝統的な造りを取り入れた外観や内装（近代的にしすぎない）
- SL を公園からセンターにいただく
- 敷地内に方々から入れる

（エ）アンケートに書かれた意見・感想

ワークショップ終了後に実施したアンケートでは、以下のコメントが寄せられた。

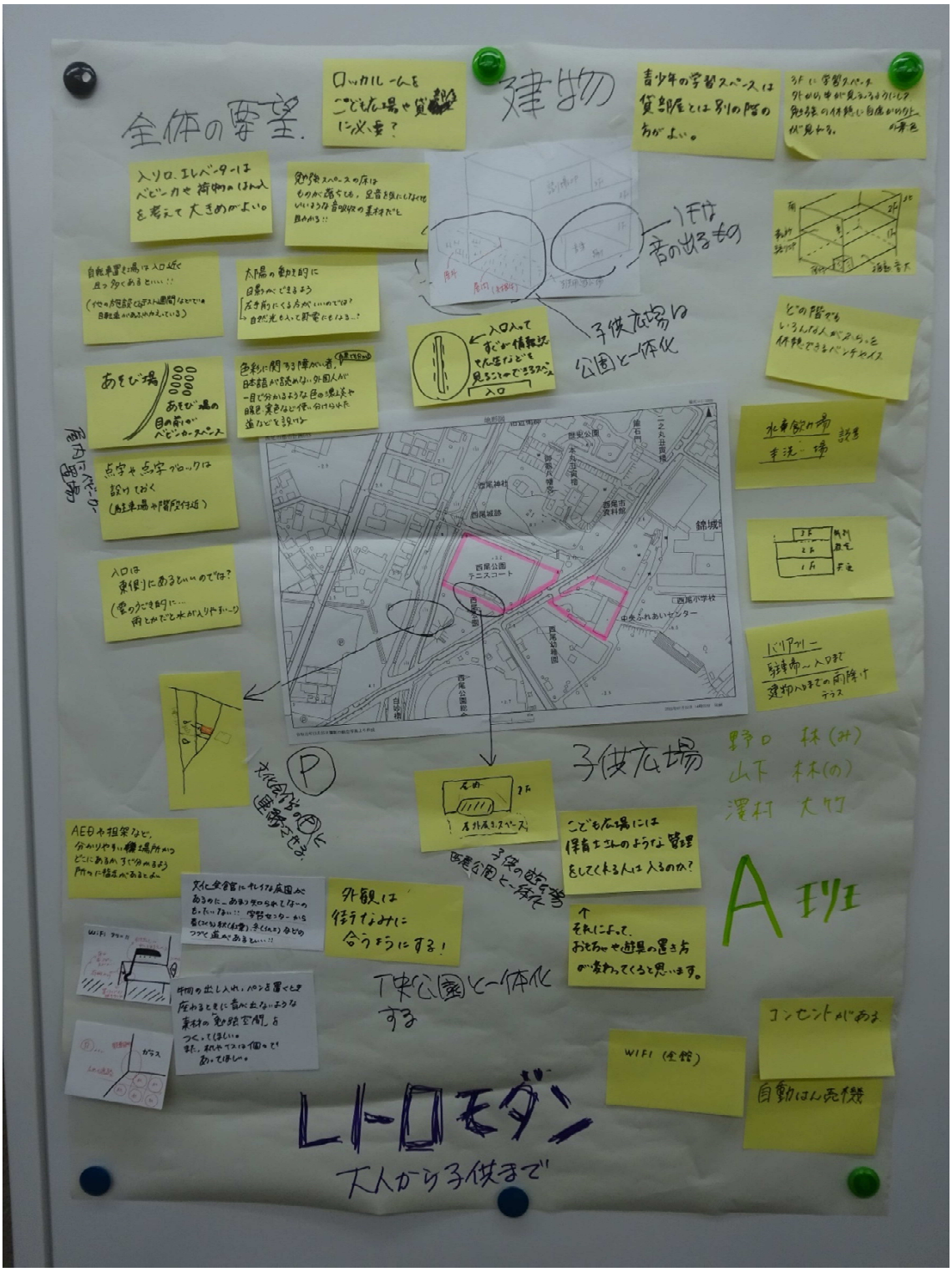
- 西尾市内の事を地域の方や色んな方と話し合う経験を初めてさせていただきました。ありがとうございました。
- 様々な立場、年代の方との意見を踏まえて、よりよい西尾づくりに参加できとても楽しかったです！！考え方の差異を肌で感じ、何かベストのものをつくる大変さを知りました。まだ学生ですが、働くこと、考えることの貴重な体験ができ、「仕事」に対し新たな見方を得ることができました！！　本当に楽しかったです！！
- 若い人（女性）の声を聞くことができました。若い人達の利用がしやすくなると良いと思う。
- ブレーンストーミングの独特な自由意見で発言できた事に納得しています。
- １階、２階は吹き抜け
- フリースペース、交流スペースは開放的に利用できる（開放的な空間）。
- 周辺施設（歴史公園、西尾幼稚園など）とかけ離れすぎない外見の部分は、Ａ班のレトロモダンはとても素敵だと思いました。
- Ｂグループのタイトルどおり、規制や固定概念をとっぱらって、ワークショップで発表された意見の実現に向けて動いて欲しい。
- 多様な意見が出て有意義だった。
  できるだけたくさんの意見を取り入れた施設ができると良いと思います。歴史公園、西尾公園と一体化した方が良いと思います。
- 施設の機能等についての委員さんの建設的な意見を聞くことができました。西尾市にはすでに多くの公共施設があるので、いかにも西尾市の施設というものではなく、デザイン的にも思い切って、ざん新なものになることを期待したいと思います。
- 普段、意見を交わす機会のない方と話すことができ刺激的でした。急きょ、代理で参加となりましたが、西尾市民として少しでも関わることができて光栄です。
  施設として、人がつながる機会をこまかく用意する（お膳立てする）ばかりでなく、利用者が主体的に誰かとつながるような施設という意見は素敵だなと思いました。
- 各グループで様々な意見を聞くことができて勉強になる事もあり、たのしく参加する事ができました。ありがとうございました。小さなお子様から老人まで多世代の方が入りやすい、使いやすい施設になると良いと思います。
- 新センターの外観や配置を考えつつ、他の施設や町の景観にも考えをめぐらせることができ、少し視野が広がりました。言い忘れましたが、トゥクトゥクが駅から乗れると楽しいと思います。
- Ａグループの「レトロモダン」な雰囲気、Ｂグループのダイナミックな一体利用のアイディア、Ｃグループの開放、解放感を大切に市民が成長、進化を目指す
  新しい視点がとても良かったです。

ウ　ワークショップの成果品

第１回・第２回のワークショップによる成果として模造紙を以下に掲載する。

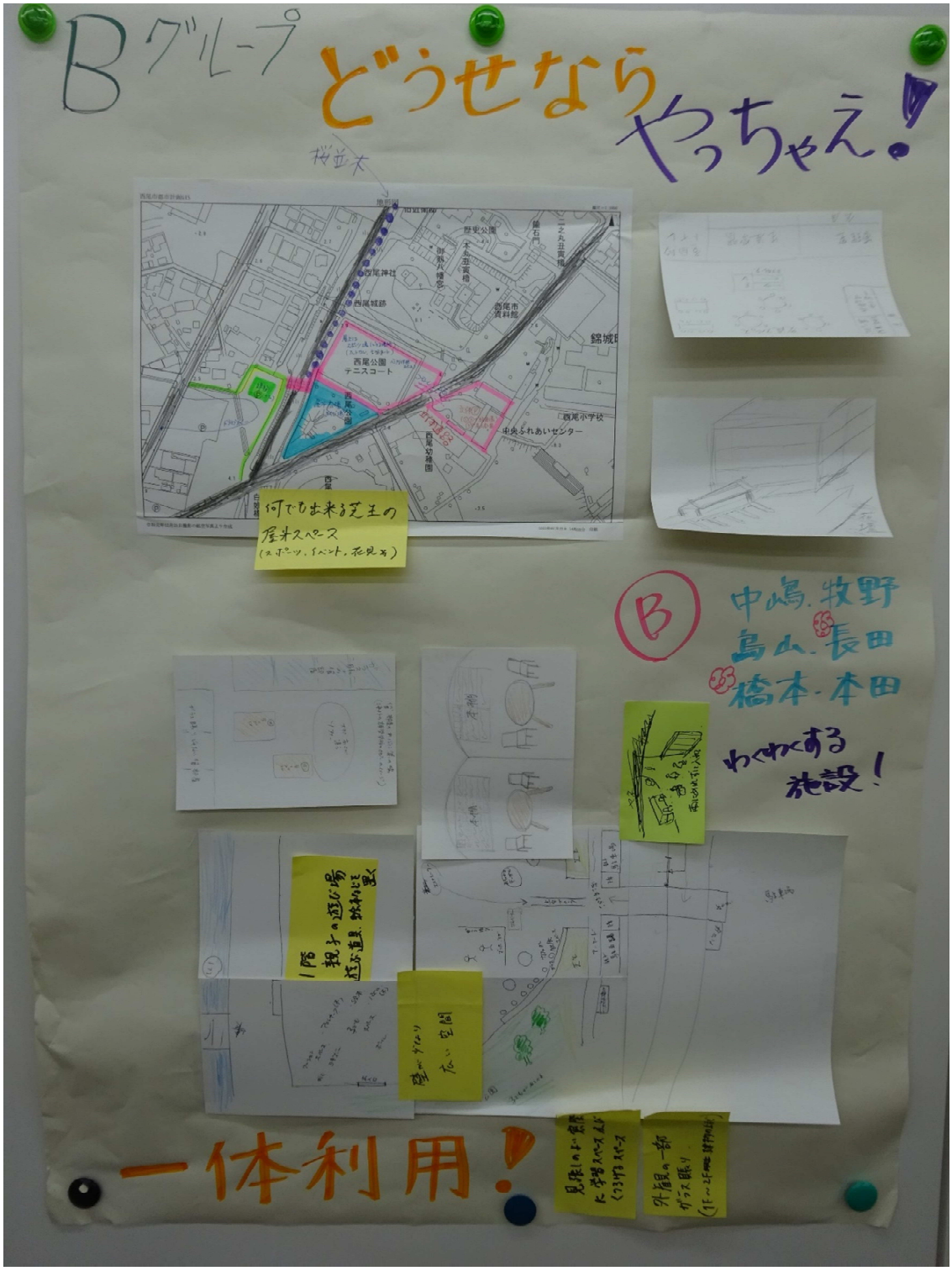
【A グループ】第１回目　（青色の付箋は２回目に追加）

【A グループ】第２回目


全体の要望
建物
ロッカルームを
こども広場や貸
に必要？
青少年の学習スペースは
貸部屋とは別の階の
方がよい。
入口、エレベーターは
ベビーカや荷物のはん入
を考えて大きめがよい。
太陽の動き的に
日当たりにくる方がいいのでは？
自然光をいれて節電にもなる…？
あをび場
あをび場の
目の前が
ベビーカースペース
点字や点字ブロックは
設けておく
（駐車場や階段付近）
入口は
東側にあるといいのでは？
（雲のうごき的に…
雨とかでも木が入り口がいい）
入口入ってすぐが情報誌やパンフレットなどを見ることのできるスペース
入口
子供広場は
公園と一体化
どの階でも
いろんな人がふらっと
休憩できるベンチやイス
水道飲み場
手洗い場
駐車
ドリアプリー
駐車場…入口まで
建物入口までの雨除け
テラス
西尾公園
テニスコート
西尾神社
西尾城跡
西尾市
資料館
錦城
西尾小学校
中央ふれあいセンター
西尾幼稚園
子供広場
野口　林（み）
山下　林（の）
澤村　大竹
A モリエ
AEDや担架など、
分かりやすい場所かつ
どこにあるかすぐ分かるよう
門などに掲示があると…
外観は
街うなみに
合うようにする！
T東公園と一体化
する
こども広場には
保育士さんのような管理
をしてくれる人は入るのか？
それによって、
おもちゃや遊具の置き方
が変わってくると思います。
WIFI（全館）
コンセントがある
自動はん売機
レトロモダン
大人から子供まで

【B グループ】第１回目　（青色の付箋は２回目に追加）

【Ｂグループ】第２回目


Bグループ
どうせならやっちゃえ！
桜並木
西尾公園
テニスコート
西尾小学校
中央ふれあいセンター
何でも出来る芝生の屋外スペース
（スポーツ、イベント、花見等）
B
中嶋、牧野
島山、長田
橋本、本田
わくわくする施設！
1階
親子の遊び場
近所連、放れいに
一体利用！

【C グループ】第１回目　（青色の付箋は２回目に追加）

【Ｃグループ】第２回目

KAIHOU未来を切り拓く
～人と場所がつながる～
西尾城跡
西尾公園
テニスコート
西尾公園
西尾幼稚園
中央ふれあ
道路から入口が分かり易い表示
伝統的な造りを
SLを公園からセンターにいただく。
敷地内に方々から入れる。
子育てどもスペース
SL
学習スペース
学習スペース
大人
学生
動線